

◆企画名	Welcome to ピア・コミュニティ
日程	平成27年6月15日(月)、6月18日(木)
場所	関西大学総合図書館1階 ラーニング・commons ワーキング・エリア 109-A
参加者数	15日:17名(ピア・サポータ6名、研修生9名、学生支援室TA1名、職員1名) 18日:17名(ピア・サポータ6名、研修生6名、学生支援室TA3名、職員2名)

目的

- ①今年度新しくピア・コミュニティに入った研修生に対して、各コミュニティの活動内容について知ってもらうことによって、ピア・コミュニティに馴染んでもらう。
- ②先輩ピア・サポータから体験談を話してもらうことによって、研修生に自分の将来の姿をイメージしてもらう。
- ③ピアエリアの使用方法について説明することで、企画参加者が今後ピアエリアを利用しやすいようにする。
- ④研修生同士の交流を促進することで、今後活動するにあたり、コミュニティ間の連携につなげる。

内容

- 本企画は、2日間の実施日を設け、それぞれに参加者を募り、両日ともに以下の内容を行った。
- ・ピア・コミュニティの概要、各コミュニティの理念と最近の実施企画の紹介
 - ・ピアエリアを利用するにあたっての注意点(備品管理など)についての説明
 - ・先輩ピア・サポータからのピア・サポート活動の体験談
 - ・お悩み解決ワーク…ひとつの悩みを提示し、その解決方法について、グループで意見をまとめることで仲間の意見を聞き視野を広げ、グループ全員で一つの結論を導く過程を体験してもらった。

効果

- ・アンケートを通して、コミュニティ紹介で「他コミュニティについてわかりやすく知ることができた」、備品・ピアエリアについて「分からないことを聞いて良かった、実際に使用して学んでいきたい」、お悩み解決ワークについて「良い経験になった、活かしていきたい」という意見をいただいた。
- ・体験談を担当するピア・サポータを含め、参加者もコミュニティの枠を超え幅広く集まり交流することができた。

改善点

- ・企画担当者間の連携がうまくとれておらず、初動が遅かった。また企画担当者全員が3年次生であったため集まるのが難しく、運営本部の会議で諮る機会が少なかった。改善策として、計画性をもって企画を進め、企画担当者に2年次生を含めることが考えられる。
- ・備品やピアエリアの使い方に関して、時間を区切って移動するなどして、実際にピアエリアで行うほうがわかりやすかった。参加人数に対して部屋のキャパシティーにほとんど余裕がなかったため、空間・時間に余裕がなかった。凜風館4階のミーティングルームを予約し、企画を実施すべきであると思われる。

感想

- ・企画担当者も、人前で話すというプレゼンテーションの機会だけでなく、グループの進行役としてファシリテーターの経験が得られた。
- ・継続的なピア・サポータや研修生の交流、備品・ピアエリアに関しての周知は今後も必要であるため、このような企画や機会を設けることは必要であると思われる。